

4 平成26年度予算において 特に重点的に取り組む事業

本市を取り巻く社会状況の変化に迅速に対応し「川崎を一步先へ、もっと先へ」進めるために、平成26年度予算において特に重点的に取り組む事業をご紹介します。

待機児童ゼロの実現に向けた新たな挑戦

～27年4月までに待機児童の解消～

認可保育所の運営(受入枠の拡大)

24,275,483 千円

新たに整備した認可保育所において、保護者のニーズに即した保育サービスを提供します。

★ 26年度からの受入枠の拡大 ㊦

221 か所 (18,995 人) → **241 か所 (20,325 人)**

保育所数 20 か所増、定員数 1,330 人増

認可保育所の整備

3,405,266 千円

民間活力と多様な整備手法を用いて、効果的な認可保育所の整備を行います。

★ 27年度に向けた整備 ㊦

1,540 人分 (保育所数 22 か所増)



認可外保育施策の充実

4,124,471 千円

市の独自施策「川崎認定保育園」を活用し、待機児童の受入枠を確保します。

★ 川崎認定保育園の受入枠の拡大 ㊦

人数 2,500 人 → **3,400 人**

★ 保育料補助の充実 ㊦

保育料補助 月 5,000 円 → **月 5,000・10,000・20,000 円**
(年齢と所得に応じた補助制度)



㊦…新規事業 ㊦…拡充事業

幼児教育の振興

3,124,847 千円

幼稚園の培ってきた実績を生かし、多様化するニーズに対応します。

- ★ 幼稚園保育料等補助の充実 ④
多子世帯と低所得世帯への負担軽減策の拡大
- ★ 長時間預かり保育事業の推進 ④
施設数 **8か所・345人分**の受入枠の増
- ★ 幼稚園の「認定こども園」への移行促進 ⑧
施設数 **1か所・30人分**の受入枠の増



中学校給食の推進 ~安全・安心で温かい中学校完全給食~

中学校完全給食の導入

48,329 千円

安全・安心で温かい中学校完全給食の28年度実施に向け、実施方針の策定及び施設・設備の改修計画の策定を行います。

- ★ 中学校給食実施方針の策定 ⑧



教育改革の推進 ~子ども一人ひとりにきめ細やかな指導・支援を~

きめ細やかな指導の充実

124,120 千円

確かな学力を育成するため、少人数指導等のきめ細やかな指導について、より有効なグループ編制や指導方法の研究を進めます。また、学校が明確な数値目標を示せるよう、目標設定のあり方等の検討を進めます。

- ★ きめ細やかな指導の充実のための効果的な指導方法の研究 ⑧

一人ひとりの教育的ニーズに対応した総合的な支援

928,637 千円

いじめや不登校等の未然防止と早期発見・早期対応を図るため、児童支援コーディネーターの専任化を進めます。また、経済的な理由で就学が困難な世帯に対する就学援助の支給項目を追加します。

- ★ 児童支援コーディネーターの専任化 ④
35校配置 → **44校配置**
- ★ 就学援助の支給項目を追加 ④
中学生の**部活動に要する経費**を新たに支給



地域ぐるみで教育を支える環境の充実

49,990 千円

シニア世代の知識と経験を生かした多世代で学ぶ生涯学習の拠点となり、地域ぐるみで児童生徒の学習をサポートする「地域の寺子屋事業」を推進します。

★ 地域の寺子屋の開講 新

全市7校でのモデル事業の実施



予防医療、介護予防、がん撲滅の取組の充実

～市民の「健康寿命」の延伸へ～

地域包括ケアシステムの構築に向けた取組

79,248 千円

要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、「住まい」「生活支援・福祉サービス」「保健・予防」「医療・看護」「介護・リハビリ」が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進します。

★ 地域包括ケアシステム推進基本方針の策定 新



がん検診の取組の強化

1,688,313 千円

「政令市トップレベルのがん検診受診率」をいち早く達成することを目指して、より効果的で実効性のある取組を構築し、推進します。

★ がん検診受診率の向上に向けた効果的な取組の構築 新



予防接種による感染症予防の推進

3,761,748 千円

風しんなどの現在実施している12疾病に加えて、新たに2疾病の予防接種を実施し、感染症の予防及びまん延の防止を図ります。

★ 新たな定期予防接種の実施 新

- ・成人用肺炎球菌ワクチン（高齢者対象）
- ・水痘（水ぼうそう）ワクチン（乳幼児対象）

※ 国の法令改正の状況により内容が変更になる場合があります。



誰もが安心して暮らせる仕組みづくり

～**安心で生き生き**と暮らせる**地域社会**を目指して～

高齢者の多様な居住環境の整備

1,910,767 千円

要介護高齢者の在宅生活を支えるサービスの中核となる「小規模多機能型居宅介護」や「複合型サービス」の整備等を進めます。また、介護の必要性が高い高齢者の将来的な増加を踏まえ、特別養護老人ホームの整備を進めます。

★ 地域密着型サービスの整備

- ・小規模多機能型居宅介護の整備（9か所）
- ・複合型サービスの整備（2か所）



★ 特別養護老人ホームの整備

- ・26年度開所予定 → 2か所（宮前区・麻生区）
- ・28年度開所予定 → 1か所（川崎区）

障害者の暮らしを支える取組の充実

888,846 千円

障害者の就労による自立を支援するため、きめ細かな就労支援や企業への働きかけを行います。また、各区に障害者通所施設を整備し、安心して自立した地域生活を送れる環境づくりを推進します。

★ 地域就労援助センターの体制強化 ④

市内3センターの就労支援員の増員 など

★ 就労支援ネットワークの構築 ④

中小企業等に対する職場体験実習のコーディネート など



★ 障害者通所施設の整備

- ・拠点型 → 2か所（川崎区・宮前区）
- ・地域型 → 2か所（幸区・高津区）

健康危機管理体制の整備

133,017 千円

感染症発生に備え医療機関と連携して、まん延拡大を防ぐ取組を進めます。また、新型インフルエンザ等対策行動計画に基づく対策を進めます。

★ 新型インフルエンザ等発生時のための対策強化 ④

医療機関における医療資器材の効率的な備蓄促進を新たに開始



災害に強いまちづくり ～市民の命を守る体制の強化～

消防力の総合的な強化

2,785,339 千円

防災拠点となる消防施設や設備を整備するとともに、地域の消防団との連携も含めた強固な体制づくりを進めます。

★ 消防通信の基盤強化（通信設備の整備）

- ・ 消防救急デジタル無線の整備（26 年度完成予定）
- ・ 消防指令システム等の更新（29 年度更新予定）

★ 緊急消防援助隊活動拠点の整備

消防総合訓練場の改築（27 年度完成予定）



川崎市消防局
イメージキャラクター
「太助」

★ 消防ヘリコプターの整備 ⑨

「そよかぜ2号」の更新（27 年度更新予定）

★ 消火用具の整備 ⑨

消火ホースキットを市内 175 か所の避難所に順次配備
（26 年度は、**避難所 57 か所**及び**局・8消防署**に配備）

★ 消防団活動の充実強化 ⑩

- ・ 消防団員の出務手当の充実（新たに訓練出務時に加給）
- ・ 消防団車両への MCA デジタル無線機の搭載（12 台）

まち全体の耐震化

22,427,306 千円

民間の建築物の耐震化とともに、災害時の拠点となる公共施設を含めて、まち全体の耐震化を促進します。

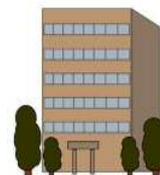
★ 民間建築物の耐震化の促進 ⑩

- ・ 耐震診断が義務化された特定建築物への助成金の拡充
- ・ 木造住宅の耐震改修助成の拡充措置の継続



★ 市役所本庁舎等の耐震対策の推進 ⑩

- ・ 本庁舎等の抜本的耐震対策に向けた基本計画の策定
- ・ 本庁舎からの仮移転、第2庁舎の耐震補強工事の実施



★ 上下水道施設の地震対策等の推進



防災機能の強化

2,240,950 千円

「地域防災計画」等に基づく防災対策の充実を推進します。

★ 防災行政無線設備の整備 ④

災害情報を市民に一斉に伝達するための同報系無線の再整備

★ 防災拠点の整備 ④

- ・ 備蓄倉庫の整備 → 40 か所整備

全ての市立小・中学校等に備蓄倉庫を順次整備

- ・ マンホールトイレ → 6か所整備

幹線道路や駅に近接する中学校に順次整備



活力と魅力あふれる力強い都市づくり ～世界と競うまちの創出～

臨海部における国際戦略拠点の形成

1,254,580 千円

殿町国際戦略拠点「キング スカイフロント」を中心に、民間事業者の進出を促進するなど、臨海部におけるライフサイエンス・環境分野の研究開発拠点の形成を推進します。

★ (仮称) ものづくりナノ医療イノベーションセンターでの企業支援 ⑤

★ 国際的なプロモーションや誘致推進による拠点形成の推進

★ 国立医薬品食品衛生研究所の移転整備の推進



移動や物流を支える交通機能の強化

2,875,441 千円

交通需要の増加に対応する新たな交通機能の確保及び災害時における輸送ルート確保等、交通ネットワークの強化に取り組みます。

★ 臨港道路東扇島水江町線の整備 ④



産業イノベーションの創出

56,939 千円

新川崎・創造のもり地区のナノ・マイクロ産学官共同研究施設「NANOBI C (ナノビック)」におけるナノ・マイクロ技術の研究開発を推進するとともに、先端産業のさらなる集積を図ります。

★ 新川崎・創造のもり地区での新たな施設整備に向けた取組 ④

市民生活を豊かにするまちづくり

～**利便性**が高く**うるおいのある**地域社会の構築～

魅力ある都市拠点の整備(川崎駅周辺地区)

1,360,936 千円

川崎駅周辺地区において、既存の商業・業務機能の集積を生かしながら、魅力ある広域拠点の形成を推進します。

- ★ JR川崎駅北口自由通路等の整備 (29年度完成予定) など

連続立体交差事業の推進

2,333,596 千円

京浜急行大師線及びJR南武線の連続立体交差化により、道路交通の円滑化、環境改善及び地域分断の解消を図ります。

- ★ JR南武線尻手～武蔵小杉間の連続立体交差化に向けた調査 など

身近な地域交通環境の整備

332,016 千円

安全で快適な日常生活の実現に向けた地域交通環境の整備を推進します。

- ★ 身近な地域の交通手段の確保 ⑧

コミュニティ交通の持続的な運行のための支援強化 など



国際環境施策の推進

74,581 千円

多様な主体と連携し、市内の優れた環境技術等を活かしながら、国際貢献と産業振興によるグリーン・イノベーションを推進します。

- ★ 環境技術情報の共有・発信の取組 ⑧



スマートシティ戦略の推進

70,617 千円

持続可能な社会の実現へ、エネルギーの最適利用による低炭素化など市民生活の利便性等につなげるため、モデル事業によるスマートな取組を推進します。

- ★ スマートシティに向けたモデル事業の実施 ⑧

川崎駅周辺地区 → 民間事業者と連携したスマートEVバスの導入 など

小杉駅周辺地区 → 市民参加型の省エネ行動等の実証事業 など

川崎臨海部 → 水素ネットワークの構築に向けた取組の推進 など

緑豊かな公園緑地の整備

9,801,555 千円

多くの市民に愛される緑豊かな公園緑地の整備を進めます。

- ★ 等々力陸上競技場の改築 (26年度完成予定) など



市民目線からの市役所・区役所改革

～「対話」と「現場主義」に基づく取組の推進～

区の機能強化に向けた取組

35,000 千円

区が新たな課題に適切かつ迅速に対応するための予算を新設し、区の機能強化に向けた取組を推進します。

★ 区の新たな課題に即応するための経費 各区 5,000 千円 ⑨

いきいきと風通しの良い市役所づくり

18,499 千円

人事評価制度や職員提案制度を効果的に活用することで、市民感覚と市民目線の発想で課題にチャレンジする意識の高い職員を育成し、市役所・区役所を元気にして、市民サービスの向上につなげます。

★ 人事評価制度の充実 ⑩



区民車座集会の実施

82 千円

市民の声がいっしょに伝わる身近な市政の実現のために、市長が直接区民の方々から意見を聞く「区民車座集会」を開催します。

★ 各区での区民車座集会の実施 ⑨



♪～ 市制 90 周年の取組 ～♪

川崎市は、26 年 7 月に市制 90 周年を迎えます。

市制 90 周年の節目にあたり、川崎をより一層元気にとともに、本市の様々な魅力・ポテンシャルを市内外にアピールする絶好の機会と捉え、市民が集うイベント等を活用し、その気運を高めていきます。

テーマ 「川崎を一步先へ、もっと先へ」

実施期間 平成 26 年 4 月 1 日

～平成 27 年 3 月 31 日

◎市制 90 周年記念式典の実施

- ・実施日 平成 26 年 7 月 1 日
- ・会場 ミューザ川崎シンフォニーホール
記念表彰式・記念演奏会の 2 部構成により実施予定

◎その他周年記念事業を、各局区において実施いたします。

また、市民参加の視点から、民間団体等による事業も「記念事業」として位置づけてロゴマークを活用していただくなど、全市が一体となった取組を行います。

